

F10 ジェラシックパーク Jurassic park

この岩場は南仏ニース周辺にあるシークレットエリアとして密かに登られていた。この周囲はベルドンほどすぐくはなぬ川を挟んで兩岸に高さ数百メートルの石灰岩が帯状に連なっている。この周辺には幾つかのエリアが開拓されているがほとんど手付かずの状態である。このエリアのすこし所は、まず、その場所である。丁度壁の中間辺り(高さ約 150メートル)の位置にある。下の道路からも確認することができるが、どうやってそこに行くのさうと悩んでしまう様な場所にある。次はそのアプローチである。アプローチは高さ約 150メートルに長さ数キロに渡って水道管のパイプが渡してあり、それに沿って歩く。しかしそのパイプは所々岩山をぶち抜いてトンネル状に掘られていて、その中を通って行くのだが、その雰囲気がかましくジェラシックパークの名の由来通りである。ヘッドランプ無しでのアプローチはかなり厳しい。所々に換気窓が掘られているがその下はまさに絶壁で、よくこんな所に掘ったなと感心させられる。岩場はそれほど大きくなく見た目はあまりぱつとしない。しかし実際に登ってみるとけっこう面白い。所々にコルネが発達していて染み出しも多い。

岩質
石灰岩

ルート

岩場は中央に2段のハンクがあり、高さは、長い所で30メートルほどある。この部分はかなり難しく8C+までである。下部のハンクは短いボルダーの様なルート。上部は持久力を試される長いルートが多い。左側はコルネの発達した易し目の壁でウォームアップによく使われる。右面は高さはあまりなく短めの5,12クラスのルートがあるが結構難しい。ただ、所々にチッピングが見られる。エリアの上にはさらに100メートル程壁があるので雨が降ると時間差で染み出しがある。ただし降り始めやどしや降りこならぬければ登れる。全体的にかなり難しいので、上級者向け。

宿泊

私たちはニースから通っていたので不明。街道沿いには幾つかのキャンプ場がある。

シーズン

春から秋。昼過ぎから日が陰る。長雨の後には染み出しがある。ニース周辺は暑いイメージがあるが日が陰ると丁度良い。

ショツピング トポ

岩場の近くには何も無い。必ず買いたして行くこと。トポはラチュビと同じニース周辺のもの Alpes-maritimes に入っている。(Les gorges du roup のエリアの中に入っている)しかし、若干新ルートができていたので解りずらい。

アプローチ

アプローチは非常に解りずらい。NICEの隣町 CAGNES-S-M から説明する。D6号を20キロ程行き PONT-DU-LOUP を目指す。そこからさらにD6号を進むと渓谷沿いに石灰岩の岩壁が連なってくる。

途中のトンネルを超えた所が別で述べるデユベである。さらに進むとD3号にぶつかる。D3号をGOURDON方向に向かう(上り坂)。しばらく走りD603号を過ぎ200mほど進むと、鋭角な角度で左側に林道が下っている場所がある(かなり急な上り坂)。ここが非常に解りずらい。ここがアプローチの入り口になる。D3号がヘアピンカーブに入ると行きすぎなので戻ること。車を車道に止めてこの林道をどんづまりまで歩く。(10分ほど)。4WDなら林道は入れないこと。はなぬ川道が荒れて、地元クワイマーも今は歩いている。

どんづまりから水道管が見えるのでそれにしたがって右方面に20分程歩く。途中幾つかトンネルがあるので、ヘッドランプは必ず用意すること。かなり辺りな所なので車の荷物には気をつけること。

トンネル地帯を抜けて、しばらく平行道を歩くと、右手に岩場が見えてくる。上部にスリングなどが見えるので、それが目印になる。